



**松本芳光さん**  
有限会社松本製作所  
所在地：幸手市南 2-2-3  
電話：0480-42-7287

「現代の名工」とは  
我が国最高水準の技能を有し、他の技能者の模範たるにふさわしい卓越した技能者。  
昭和42年から始まり令和2年度で、延べ6千646人が選出。  
厚生労働大臣から、表彰状、卓越技能章（盾と徽章）および報奨金が贈られる。

## 現代の名工

みなさんの協力があって

畳職人として、とてもうれしいです。自分だけの力ではなく、みなさんの協力があって選ばれたんだと思います。施設にいる母に受賞を知らせたいのですが、面会に制限があつて、まだできていません。まさか「現代の名工」を受賞していたとは思っていません。もう少し、早く会って伝えたいですね。

## 畳工への道

大変さはわかっていて

畳屋になるつもりは全くなかった。家業の大変さは見ていて感じていたので、イヤでしたよ。

でも高校卒業してこの道に入り、奥深さから極めたいという気持ち芽生えました。

また、家にいた6人の職人さんや、技能士会の先輩方のそれぞれの個性が面白かったし勉強になりました。

## 妥協しない

材料・仕事へのこだわり

畳は畳床・畳表・畳縁を手または機械で縫っていきます。素材を吟味して、納得のいく材料を使いたいの、イグサ農家さんから嫌がられています（笑）。今は理解してもらえていますので、納得の畳表が納品されます。

でもイグサは天然素材だから同一梱包の中でも1枚1枚色などが違うので、色合せやキズが無いかを確認してから作業に入ります。

畳床も巾・丈を直し、さらに凸凹もできる限り整え、敷き込みが出来るようにします。休む余裕は無い程ですが、こだわって手を掛けています。

## 見た目と手触り

いいものを納品したい

神社仏閣、家庭で使われる畳を作りますが、畳を並べた時の見栄えもありますので、縁の柄がぴったり合うように

計算して縫います。

また、時間と労力がかかりますが、畳の角が美しく仕上がる板入れ畳や、和室を美しく、そして広く見せるための一本縁も手掛けています。

通常、縁は一寸（約3cm）幅ですが、九分（約2.7cm）で仕上げると柄がきれいに見えるので、こだわりの併せて納品しています。

こだわりの伝わった時は、うれしいですね。

## 挑戦はつづく

ものづくりは面白い

まだ縫ったことのない畳があるので、挑戦してみたいです。

宮中行事などで使われる「八重畳」は縫っていますが、八重畳の上に重ねる「龍鬚」や「茵」を作って、御神座として完成させたいです。

縁（大和錦）などは揃っているのですが、取っ掛けが…。こだわりと挑戦は、まだまだ続きますよ！

新年のご挨拶を申し上げます

幸手市長

木村 純夫



市民の皆様におかれましては、ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

また、市政推進にあたり、格別のご支援をたまり心から感謝申し上げます。

昨年は、新型コロナウイルス感染症が猛威をふるい、全世界に拡大した年でありました。市では「幸手市新型コロナウイルス対策本部」を設置し、県や関係機関と連携強化を図りながら、様々な感染防止対策や生活支援、経済対策を進めてまいりました。本年も引き続き、全力で取り組んでまいります。

さて私は、市民の皆様により市の将来に希望を持っていただけるよう、中・長期的な視点に立った未来志向のまちづくりを進めています。学校教育環境の整備、医療・介護等の連携強化、公共交通の見直し、防災対策等々の各施策を職員一丸となって積極的かつ着実に実施してまいります。

今年春には、中川に架かる新設の「令和橋」が供用開始となり、県道幸手境線バイパスが完成いたします。これにより交通の利便性向上と周辺地域の活性化につながるものと期待しております。

そして、東京オリンピック・パラリンピックが開催されます。ベナン共和国のホストタウンである本市は、ベナン共和国との交流を通じて、市民の皆様の記憶に残るオリンピック・パラリンピックとなるよう、機運をさらに盛り上げてまいりたいと考えております。

結びに、市民の皆様にとって、今年一年が充実した実り多い年でありまよう心からお祈り申し上げ、新年のご挨拶とさせていただきます。

年頭にあって

幸手市議会議員

宮杉 勝男



市民の皆様におかれましては、新春を健やかにお迎えのことと、心からお慶び申し上げます。

また、日頃から幸手市議会に対しまして、格別のご理解とご協力を賜り、厚くお礼を申し上げます。

昨年は、新型コロナウイルス感染症対策として政府による緊急事態宣言が発令され、市においても小・中学校の休業、桜まつりや市民まつりなどの各種イベントの自粛や中止をする事態となりました。

また、東京オリンピック・パラリンピックの開催の延期に伴い、市内で予定されていたパラリンピック聖火リレーも延期となるなど、市民の皆様にとって大きな影響を受けた1年となりました。

市議会では、「幸手市議会新型コロナウイルス対策支援本部」を設置して対応してまいりました。

市民の皆様から、コロナ禍における健康や経済に関し、多数の不安の声をいただいております。皆様の声が市政に反映されるよう、引き続き、鋭意努めてまいります。

今後も、市議会におきましては、執行機関へのチェック機能を的確に果たしつつ、市政の諸課題に対して、積極的に政策提言等を行い、本年も公明正大に市政の一翼を担ってまいり所存でございますので、議会運営に対しご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

結びに、市民の皆様が新型コロナウイルスに負けず、希望の年となりますことを心からお祈り申し上げ、年頭のご挨拶とさせていただきます。